

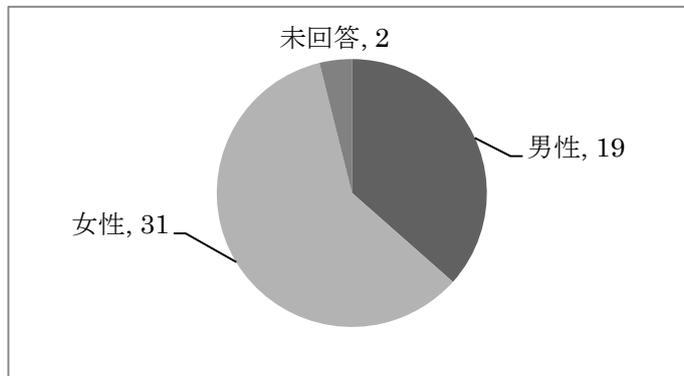
講演会アンケート結果

平成27年8月18日（火）に市立図書館2階大集会室、8月20日（木）に生涯学習センター3階第6会議室で行った「子どもの権利を考える講演会～津島市子ども条例に期待すること～」のアンケートの集計結果は以下のとおりです。

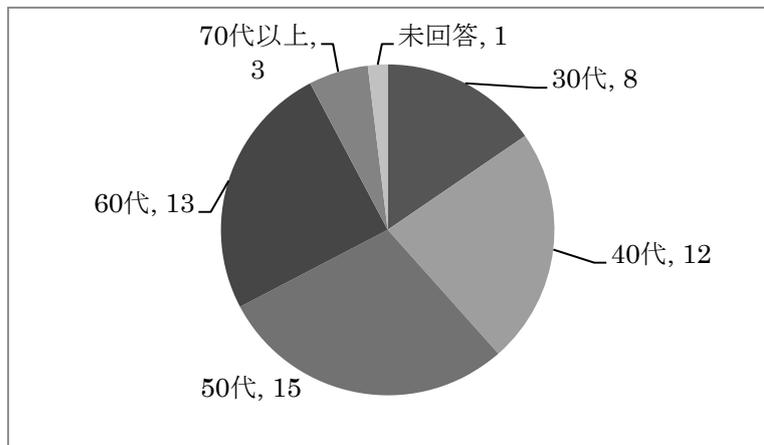
・出席者の状況

市立図書館34名、生涯学習センター19名の合計53名でした。
アンケート回収数は52名でした。

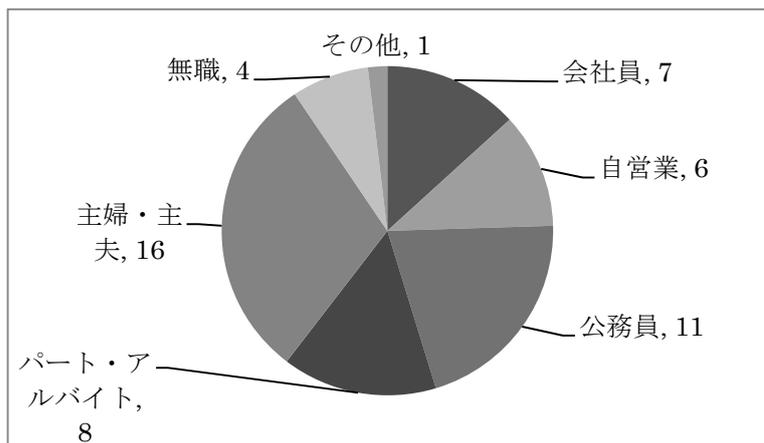
男女比の内訳は男性19名、女性31名、未回答2名でした。



年代は30代が8名、40代が12名、50代が15名、60代が13名、70代以上が3名、未回答が1名でした。



職業は会社員が7名、自営業が6名、公務員が11名、パート・アルバイトが8名、主婦・主夫が16名、無職が4名、その他が1名（複数選択があり）でした。

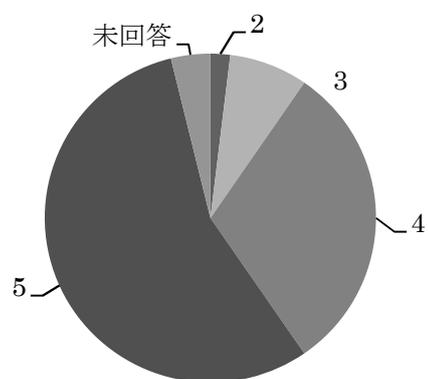


・評価項目

評価項目については良いを5、悪いを1の5段階評価で回答をいただきました。

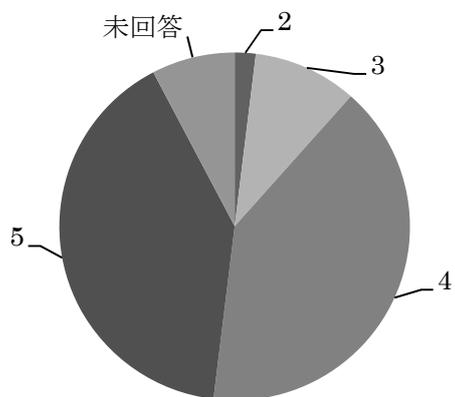
内容のわかりやすさについては、5が29名、4が16名、3が4名、2が1名、未回答が2名でした。

内容のわかりやすさ

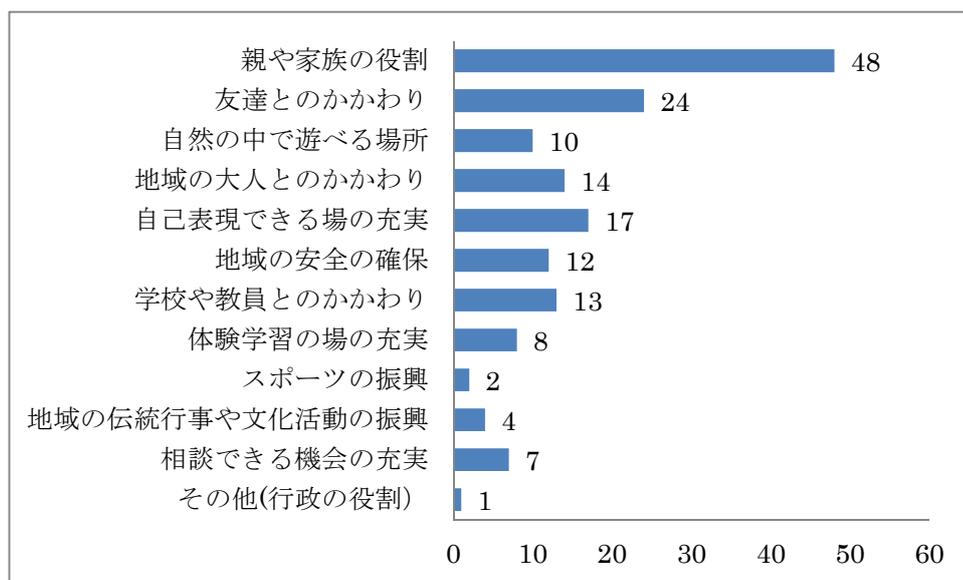


権利の理解度については、5が21名、4が21名、3が5名、2が1名、未回答が4名でした。

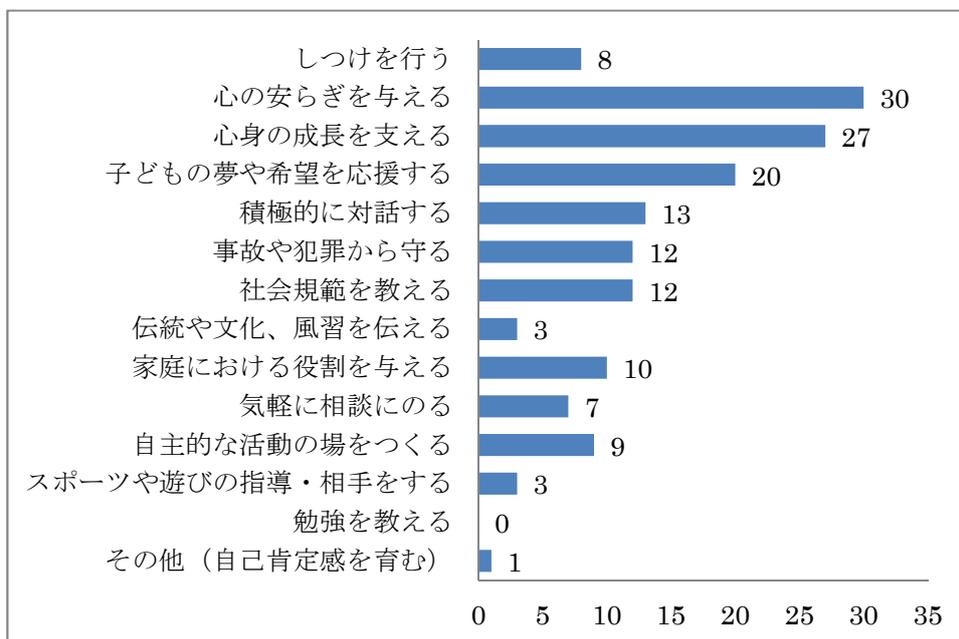
権利の理解度



・子どもがいきいきと育つために、特に重要だと思うもの

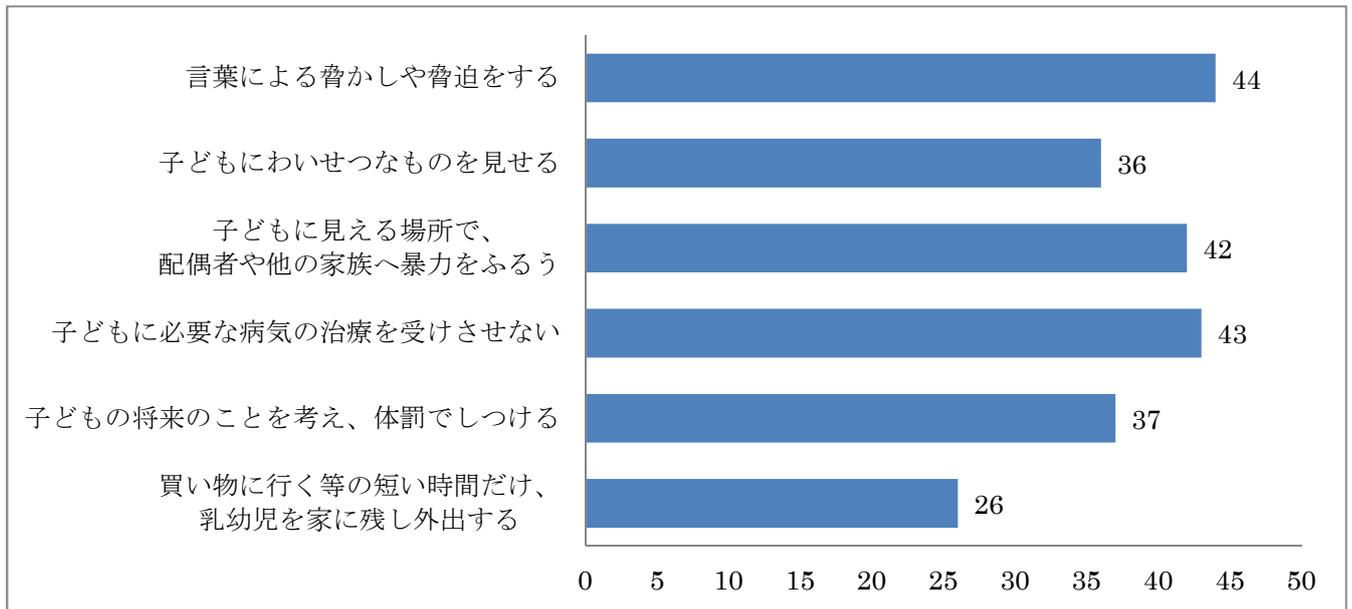


・子どもがいきいきと育つために、保護者や地域の大人としての役割として大切だと思うもの

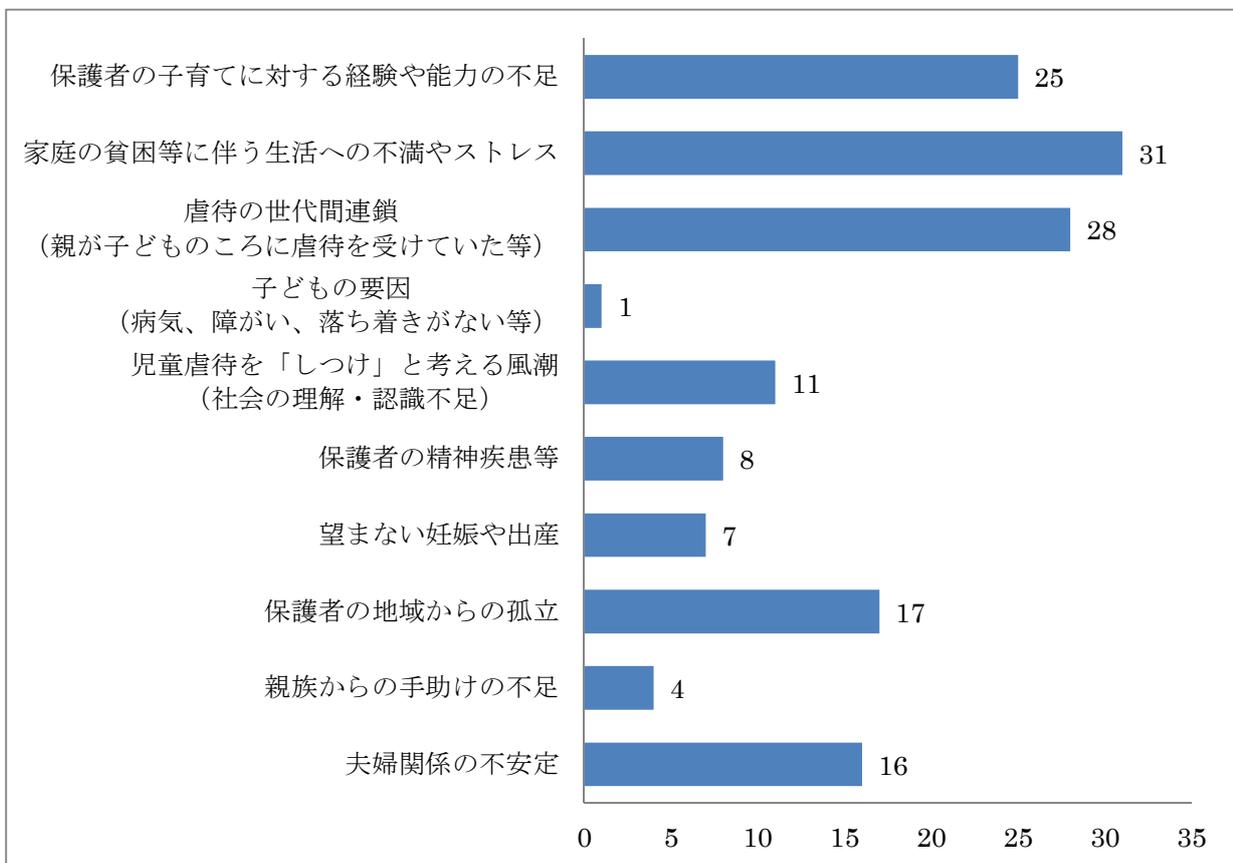


以下については裏面を回答していない方が3名いたので回答数は49名です。

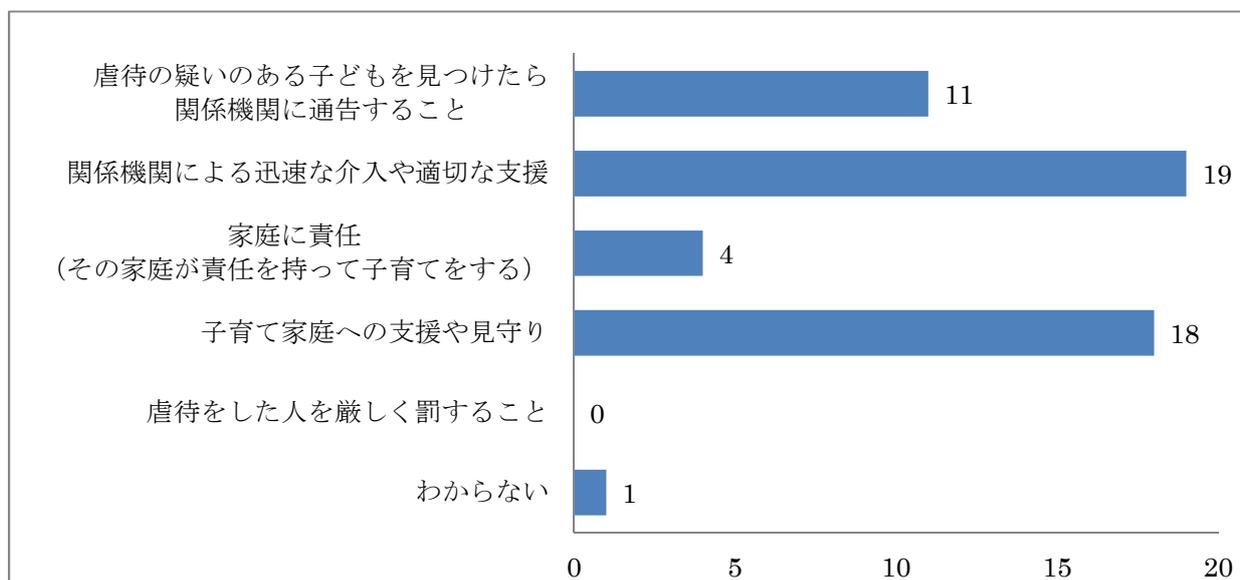
・児童虐待と感ずるもの



・児童虐待が起こる理由



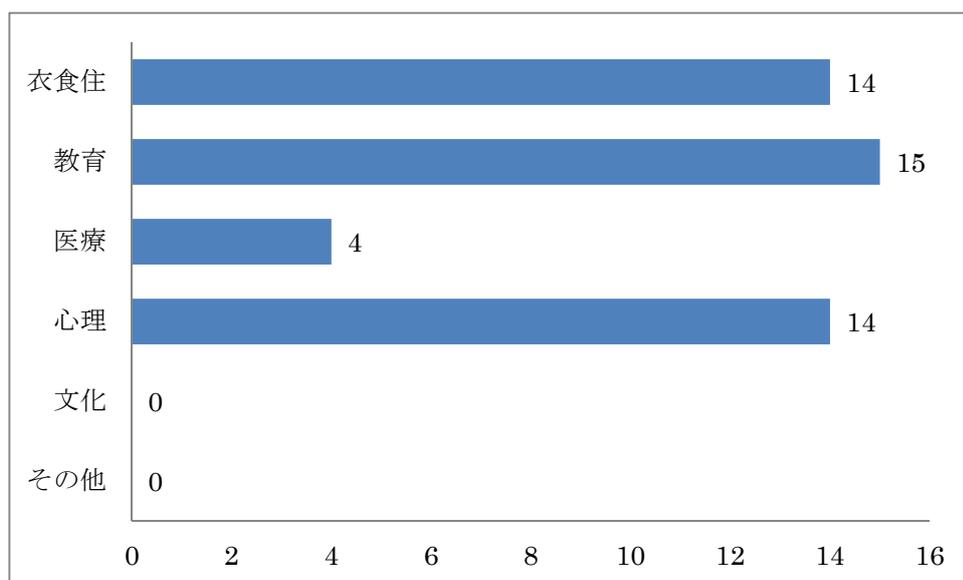
- ・児童虐待を防止するため、必要だと思うこと（複数回答あり）



- ・「子どもの貧困」は問題だと思いますか。

思う 45名 思わない 3名 未回答 1名

- ・「思う」と答えた方の「子どもの貧困」が最も影響を与えていると思う分野（複数回答あり）



・具体的な問題

衣食住	<p>精神的に安定しない 大人の都合で子どもをふりまわしている。 貧困は生活にとっても影響される。 親の経済状況によって差がある。裕福な家庭どうしても比較されて子どもはイヤな思いをしている 生きるうえで根本 人として生きるための最低の事が行われない大人になってからも問題だと思う。</p>
教育	<p>貧困によるネグレクト、育児放棄 差がでてしまっているのではないかと感じる。 貧困家庭の進学 高校、大学に進学出来ない。 十分な教育を受けた者が文化的な社会を築く礎となる。 自身の価値を見い出せるよう 教育にとってもお金がかかっているので貧困の中では幼い頃からまわりからおいてけぼりの状態になる。 低学歴→低所得（非正規雇用）、低所得者層からの脱却が出来ない連鎖</p>
医療	<p>※特に意見なし</p>
心理	<p>意欲がなくなるのではないか。 負の考え方は負の連鎖となる。 自己肯定感が育たず、社会に適応できない若者が増えている。 心に思っても発言するところが少ない。 情緒的に不安定な子どもに育っていく。成長し連鎖する可能性。 他の子どもと大人が比較する。 子供の成長過程での人格形成</p>

・ イベント案

- ・ 体で体験のできるような回避の仕方（交通、わいせつ、いじめ、DVなど）
- ・ 親子での参加型イベント、料理・スポーツ・文化など
- ・ 価値があるものの中で検討してもらいたい。
- ・ 子ども会議。子どもが企画をするイベント。
- ・ どんな事でも必ず定期的に。
- ・ 子どもたちから、大勢で行うイベント案を募集して、開催する。将来の夢を考えたり、発表する機会、大人向けに今日のような子育て世代に対する講演会やイベントの開催。
- ・ 地域のつながり、家族のつながりを育むようなイベント。
- ・ 子どもの権利がテーマとなっている映画や映像の上映、参加した子どもによるワークショップ等。
- ・ 大勢の親子らの触れあいの場、協力する内容のイベント（体を動かすものもいい）
- ・ 親子で参加するコンサート（観劇会、映画会）
- ・ 子どもフェスティバル
- ・ お祭りの様なたのしい事、みんながきやすいイベント。
- ・ わかりません。子どもに生かされる内容であれば・・・規模にもよるかと思います。
- ・ スポーツ（一種の遊び）を通じてルールが大切な事を認識させる。
- ・ 夏まつり
- ・ 児童・生徒が考え、ディベートする機会をつくってほしいです。できれば保護者にも。
- ・ 親子で参加し、作ったり、見たりできるイベントを通して家族の大切さを実感できるようなもの。
- ・ わかりやすい説明、寸劇やアニメ
- ・ 少年（成年）の主張、決起集会。
- ・ 天王祭り、秋祭りに子どもの時代により多くの子が参加できるようにする。特定の町内だけの子に特定させない。
- ・ 子ども向け人形劇、講演会、心に訴える Family コンサートの的なもの。
- ・ 子どもが「子どもの権利」を理解する為のワークショップ
- ・ 子ども、親への条例の認識を深める活動。
- ・ 芸術やスポーツに関係する事
- ・ 野外活動